

# 袖ヶ浦市公共下水道事業 事業再々評価

平成20年7月

袖ヶ浦市下水道課

# 袖ヶ浦市の概要

## 【位置】

- 房総半島の西側ほぼ中央
- 東京湾に面しており、千葉市から約20km

## 【特性】

- 工業及び農業が盛ん
- 東京湾アクアラインの開通により、  
房総半島の玄関口として機能



# 事業の必要性(汚水)

- 生活環境の改善
- 公共用水域の水質保全



出典:袖ヶ浦市HP (百目木公園)

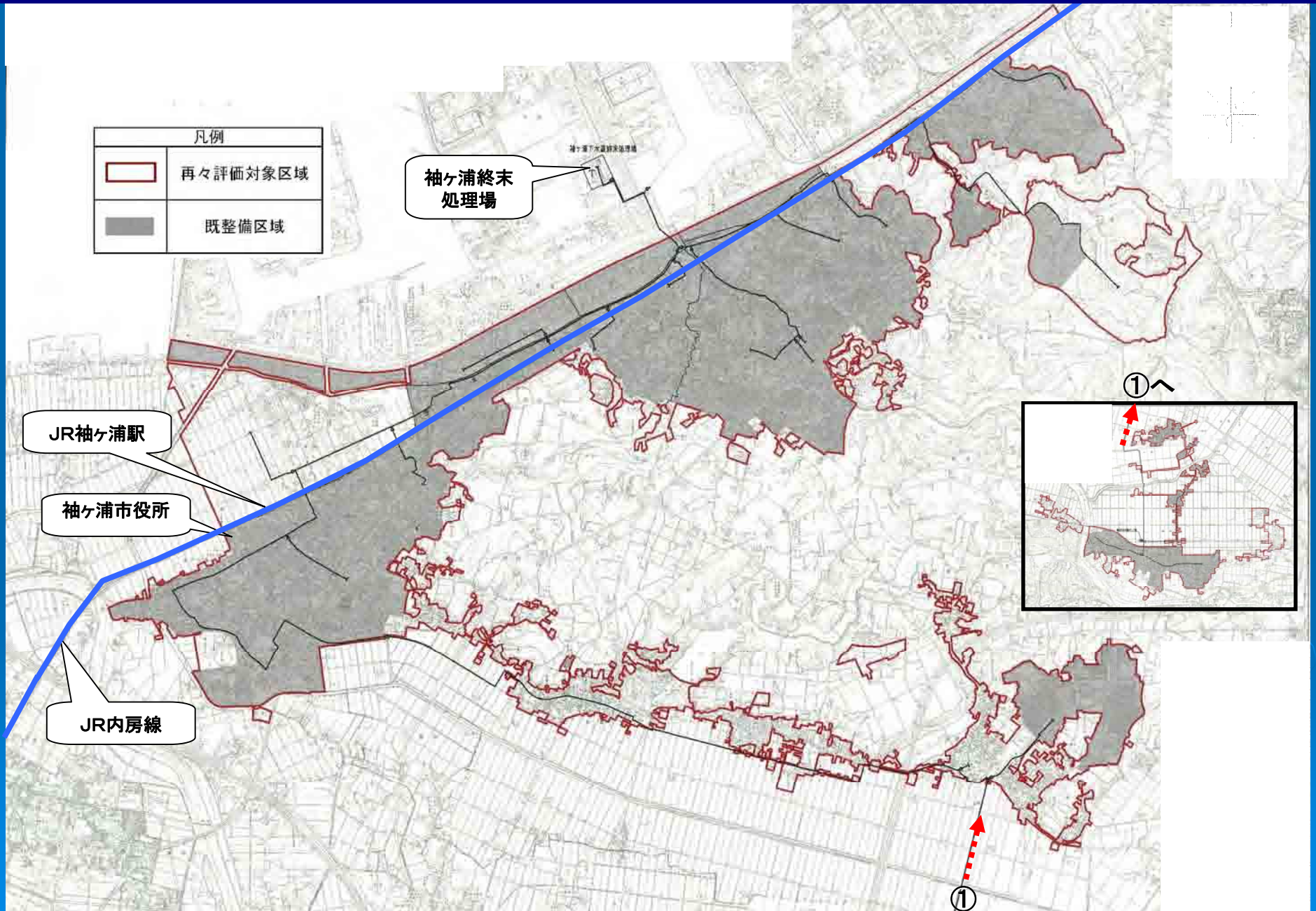


出典:海上保安庁HP (東京湾)



出典:海上保安庁HP (東京湾)

# 下水道事業の概要(汚水)



# 指標1 費用効果分析




(単位:億円)

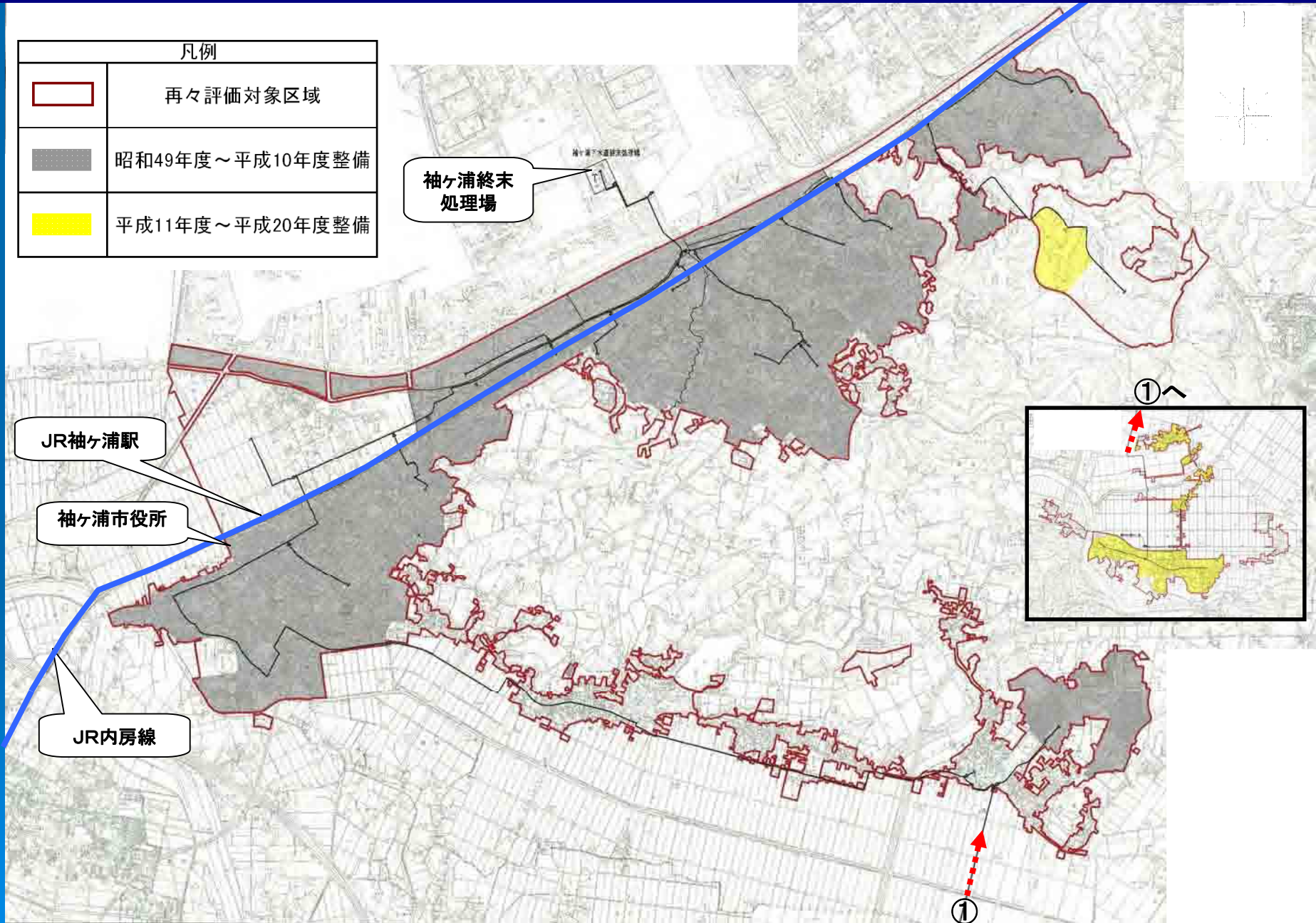
便 益(B)	1,325
費 用(C)	796
費用便益比(B/C)	1.7

## 指標2 事業の進捗状況

指標	状況
事業の進捗状況	平成20年度までの整備面積は935haであり、事業計画963haに対して、整備率は97.1%である。
処理場用地の取得状況	全用地を取得済である。
処理施設の供用状況	事業計画処理能力32,400m <sup>3</sup> /日に対し、21,600m <sup>3</sup> /日が整備済であり、整備率は66.7%である。
供用開始区域の接続状況	接続率は93.2%であり、概ね良好である。
地元情勢等	地元住民の協力は得られており、特に懸念されることもなく、事業実施にあたって支障はきたしていない。

# 指標2 事業の進捗状況

凡例	
	再々評価対象区域
	昭和49年度～平成10年度整備
	平成11年度～平成20年度整備



## 指標3 社会経済情勢等

指標	状況
社会経済情勢	東京湾アクアラインの開通に伴い、住宅需要が見込まれるものの、これについては下水道計画に見込んでおり、これまで下水道事業に特段支障を与える社会経済情勢の変化は特にない。
自然環境条件	水質汚濁に係る水質環境基準の新たな設定等、下水道事業に影響のある要因はない。
計画変更の有無 及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。



## 指標4 コスト縮減・代替案

指標	状況
コスト縮減	塩ビ製マンホールや再生材の積極的な利用など、工事発注時の段階から経済的な事業実施に努めている。
代替案	当市の市街化の状況から、代替としての浄化槽より下水道が適していると判断できる。

## 対応方針(案)

袖ヶ浦市公共下水道事業(汚水)は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当事業を継続していく方針です。

# 事業の必要性(雨水)

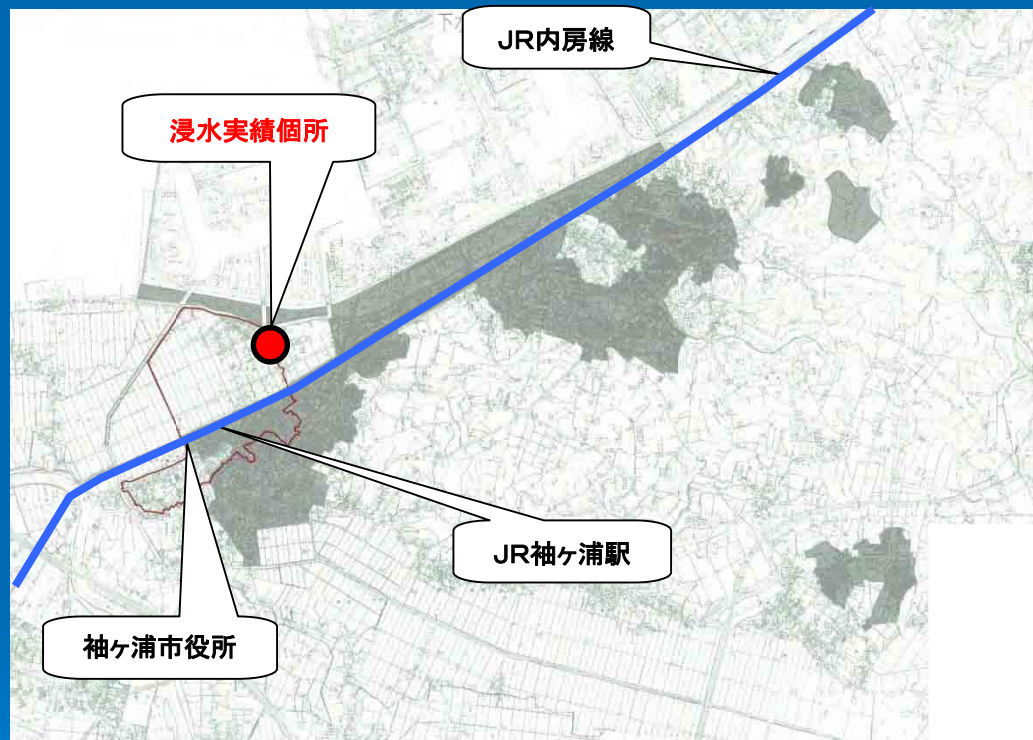
## ●都市における浸水被害の軽減



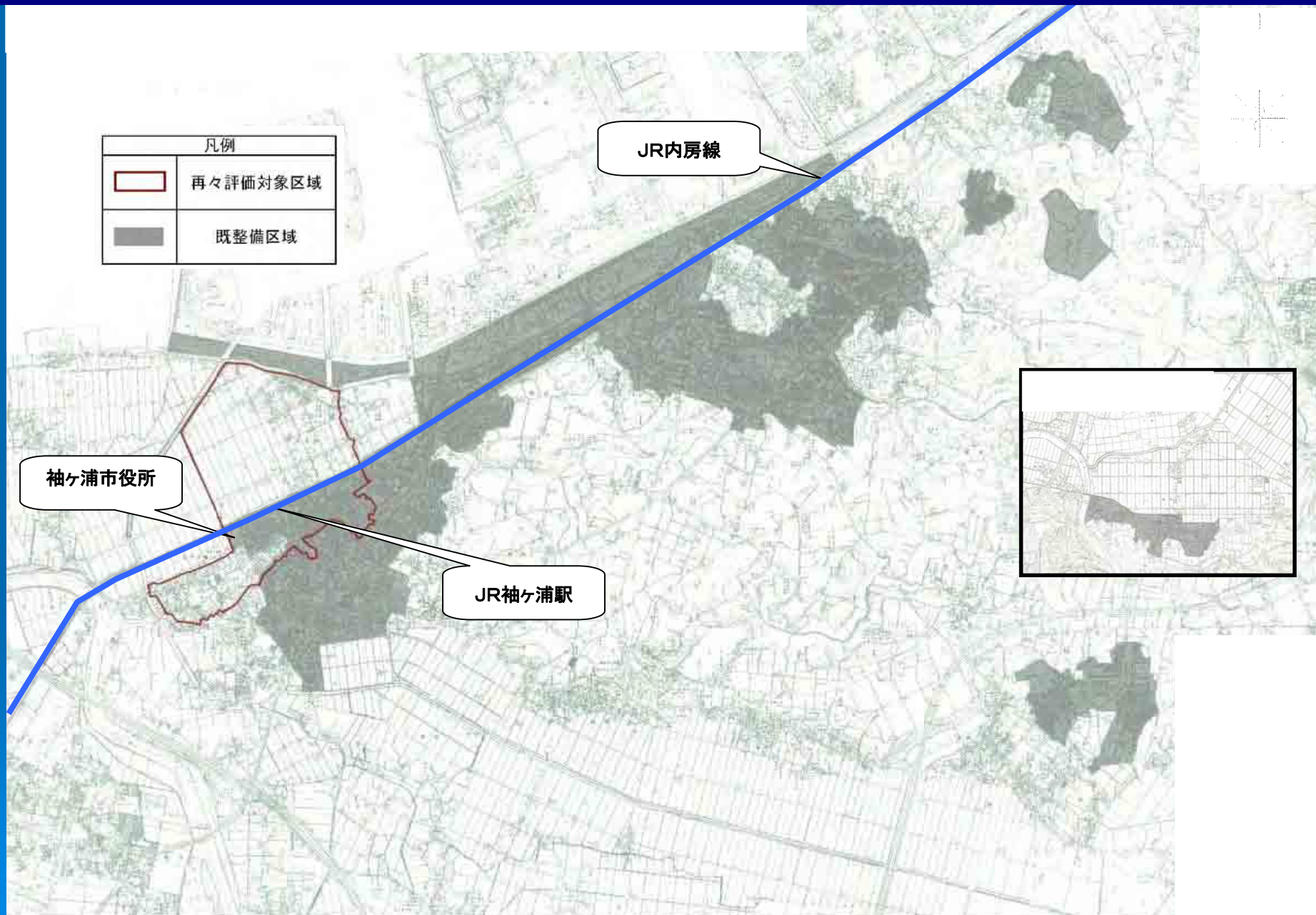
平成19年7月撮影



平成19年7月撮影



# 事業の概要(雨水)



# 指標1 費用效果分析




(單位: 億圓)

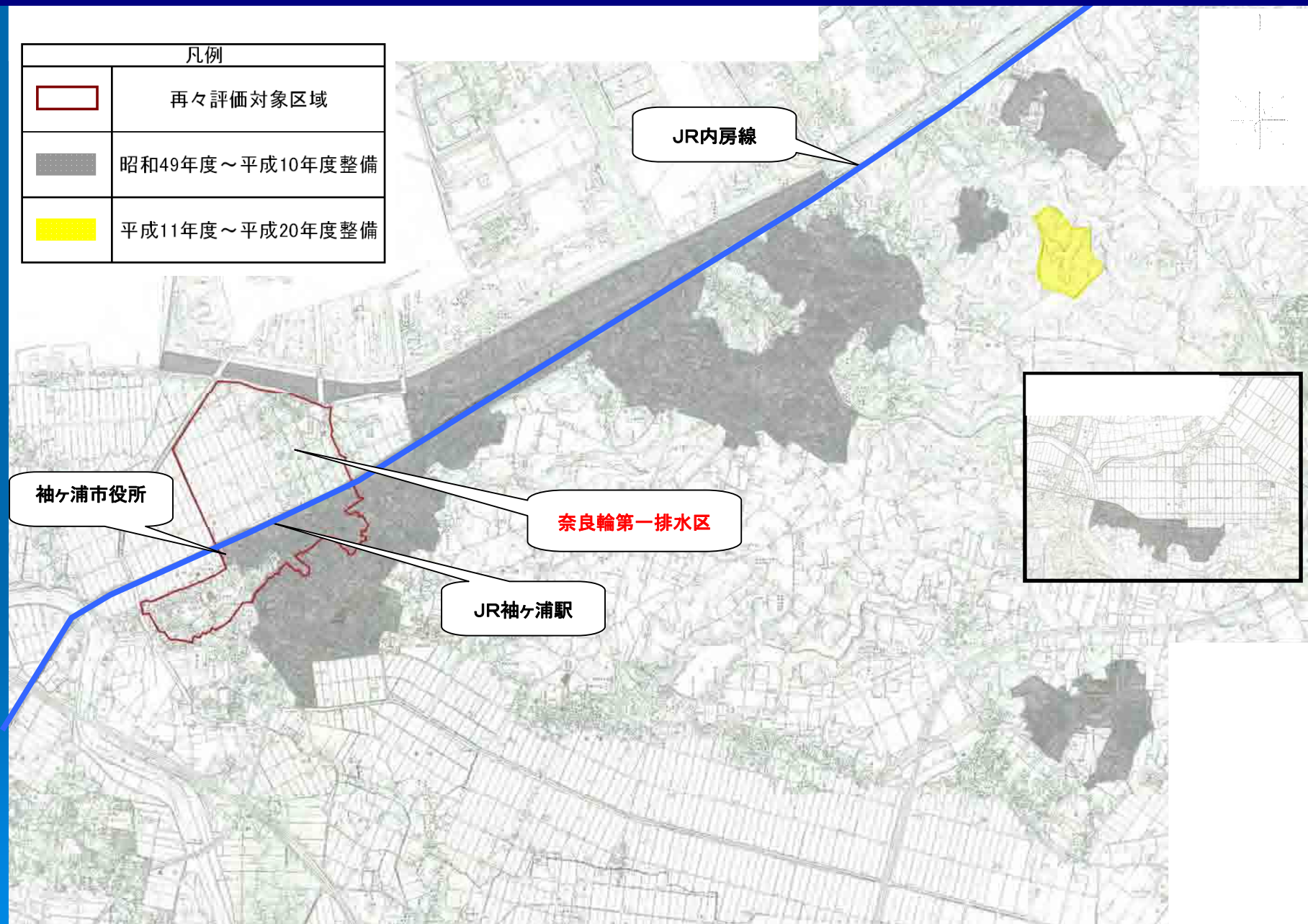
便 益(B)	176
費 用(C)	131
費用便益比(B/C)	1.3

## 指標2 事業の進捗状況

指標	状況
事業の進捗状況	平成20年度までの整備面積は35haであり、事業計画35haに対して、整備率は100%である。なお、今後事業計画の見直しを行い、整備区域を順次拡大する予定である。
地元情勢等	地元住民の協力は得られており、特に懸念されることもなく、事業実施にあたって支障はきたしていない。

# 指標2 事業の進捗状況

凡例	
	再々評価対象区域
	昭和49年度～平成10年度整備
	平成11年度～平成20年度整備



## 指標3 社会経済情勢等

指 標	状 況
社会経済情勢	東京湾アクアラインの開通に伴い、住宅需要が見込まれるものの、これについては下水道計画に見込んでおり、これまで下水道事業に特段支障を与える社会経済情勢の変化は特にない。
計画変更の有無 及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。



## 指標4 コスト縮減

指 標	状 況
コスト縮減	再生材の積極的な利用など、工事発注時の段階から経済的な事業実施に努めている。

## 対応方針(案)

袖ヶ浦市公共下水道事業(雨水)は、今後も順調な進展が見込まれることから、当事業を継続していく方針です。